データ利活用によるエビデンスに基づく効率的・効果的なメンテナンス手法

背景

市町村管理の橋梁は、
多くが **凍結抑制剤散布無し、大型車両交通量少、小規模橋梁**

➡ **自治体の管理水準に合う、過大にならない適切な補修工法を、複数自治体の実績データに基づくエビデンスを用いて、簡便に選定できる仕組みを構築!**

補修材料メーカー ⇄ 補修の技術指導・支援 / 試行現場提供・評価結果共有 ⇄ **地方自治体**

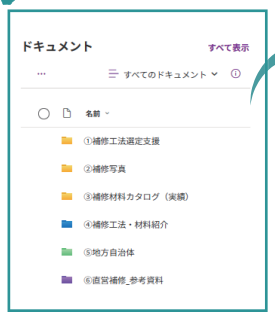
新技術・新材料等に関する情報
- データ共有
- 自治体とのマッチング

補修実績データ
- 各自治体の補修データ共有
- 新材料・新工法情報共有
- 補修工法アドバイス

補修データ共有プラットフォーム

※既存のデータ共有サービスを活用

各種ファイル共有機能



例

◆写真台帳　補修工法（対症療法・補強的措置①）

自治体名	○○市	路線名	△△線	橋名	●●橋	上部構造形式	鋼桁橋	構成要素	上下部接続部	部材名	支承	材料	鋼
工法	金属溶射	タイプ・規格	亜鉛アルミ合金及び擬合金	製品・工法・材料名	◆◆工法	補修年度	2015	補修後診断年度	20●●	特記事項	腐食進行		

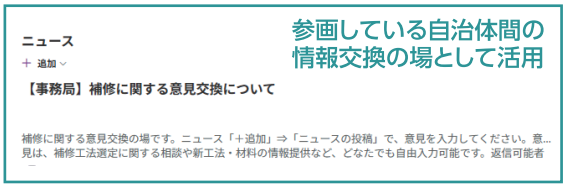
対策前

対策後

再劣化（状態1）

どの部材のどのような損傷（劣化要因含む）に対して… ➡ どのような工法・材料で補修を実施し… ➡ どの程度の効果があったかが定量的に確認できる!（再劣化までの期間：○年）

掲示板機能



参画している自治体間の情報交換の場として活用

全国の自治体が参加することができ、参加自治体数（＝実績データ数）が増えることで、補修工法選定に資するエビデンスデータの信頼性が向上していく！

運営主体：データ利活用推進による道路メンテナンス合理化協議会
事務局：株式会社IML（東北大学IMCベンチャー）
アドバイザー：東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター（IMC）

参画によるメリット

- 多くの自治体の補修実績や、その効果のデータを閲覧、条件別絞込み検索が可能
- 掲示板機能を使った参画自治体同士での情報交換
- 補修に関する技術相談対応（事務局、アドバイザー）
- 補修に関する最新情報共有、新材料の試行工事、技術指導等のマッチング

※本取組みは、国土交通省の「SBIR 建設技術研究開発助成制度」での研究開発成果を活用しています。

お問合せ先　株式会社 IML　HP：https://imc-tohoku.org/iml